

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年集中	2	1	選択
担当教員			
学科担当教員			
添付ファイル			

講義概要	本講座は、技術者や社会人として働く意義を理解し、その自覚を促すための講座です。実際に企業の中で活躍している技術者・経営者等の方々から講義受け、企業における業務内容やその役割、さらに企業全体が社会の中でどのような役割を果たしているかを理解します。さらに、講義を通じて、自分自身が目指す将来の技術者像や職業について考えます。
授業計画	<p>1 講義概要 実践技術者講座の狙いと、講義のスケジュール（テーマ、講師）について説明する。 〔本学教員〕 AI ①と②</p> <p>2 企業における技術者の役割 企業の経営における技術者の役割について説明する。〔経営者〕 AI ①と②</p> <p>3 技術者の実務（1） 現場の技術者による業務内容、必要なスキルを説明する（1）〔OB・OG等〕 AI ①と②</p> <p>4 技術者の実務（2） 現場の技術者による業務内容、必要なスキルを説明する（2）〔OB・OG等〕 AI ①と②</p> <p>5 技術者の実務（3） 現場の技術者による業務内容、必要なスキルを説明する（3）〔OB・OG等〕 AI ①と②</p> <p>6 国際的活動における技術者の役割 技術者として必要な国際的な視野について説明する。〔海外勤務経験者〕 AI ①と②</p> <p>7 求められる技術者像 企業がどのような人材を求めているか、大学で何を学んでおくべきかを説明する。 〔人事担当者〕 AI ①と②</p> <p>8 まとめ 自身の将来の技術者像や、進路を明確にするために、大学で何をすべきかを説明する。 レポートの課題を提示する。 〔本学教員〕 AI ①と②</p>
授業形態	講義 アクティブラーニング：①:8回, ②:8回, ③:0回, ④:0回, ⑤:0回, ⑥:0回
達成目標	<p>a) 企業における業務の内容やその役割について理解する。</p> <p>b) 技術者や社会人として働く意義を理解する。</p> <p>c) 将来、技術者や社会人として企業で働くために、大学で学んでおくべきことを明確にする。</p> <p>d) 将来の自分の進路や、どのような仕事をしたいかを明確にする。</p>
評価方法・フィードバック	レポートの内容により、達成目標の達成度、講義の理解度を担当教員が評価する。原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える。
評価基準	<p>1) 「秀」：90点以上（4項目を達成）</p> <p>2) 「優」：80～89点（3項目を達成）</p> <p>3) 「良」：70～79点（2項目を完全達成）</p> <p>4) 「可」：60～69点（2項目を基本達成）</p> <p>5) 「不可」：59点以下（2項目を未達成）</p>
教科書・参考書	なし
履修条件	なし
履修上の注意	なし
準備学習と課題の内容	復習をして講義の内容をまとめ、次の講義に備えること。毎回の予習復習時間は平均して1.5時間程度だが、開講スケジュールなどによって異なることから、必要に応じて指導教員より都度伝える。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:30%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	

DP4 態度	
DP5 技能・表現	